なんぶ

＜発　行＞
南部合唱団
連絡先　〒214-0022
川崎市多摩区堰
1-22-1-416
TEL：044-833-6220

平和への思いを共有した舞台

多くの皆さんのご協力に感謝

団長　大井　かつ江

きゅりあん・大ホール満席
音楽会「世界に九条を」大成功

合唱団音楽会へご来場いただきました皆様、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。そして団員の皆さん、本当にお疲れさまでした。当日は、きゅりあん・大ホールほぼ満席のお客様をお迎えし、大きく成功させることができました。「世界に九条を」と取り組んだ音楽会、平和への思いを会場の皆さんと共有できたのではないかと思っています。

組織的には、音楽会前に一〇〇〇を超すチケットの入金をやり遂げました。団員ひとりひとりが本当によく頑張りました。そして多くの方が音楽会のチケットを広めて下さいました。

今回の音楽会は、5年間、常任指揮者としてお世話になった横山琢哉指揮者と取り組む最後の音楽会でもありました。その集大成として、音楽面での南部合唱団の成長をお客様に聞いていただけたのではないかと思います。横山指揮者の提案である林光さんの曲の数々は、私たちがどう歩いて行くかを改めて考え、そして決意するのに相応しい曲でした。音楽面で私たちをここまで引き上げて下さった横山先生のご指導に心から感謝しております。ありがとうございました。

初めて演出・照明・コントの台本等でご協力いただいた現代座の愛田巡也さん、下条倬弘さんはじめ専門家の先生方には、舞台を素敵に構成していただきました。「とてもいい構成だった」「照明も素敵」という感想が沢山寄せられています。また、当日は25名以上の要員の方にお手伝いいただきました。改めてたくさんの方に支えられた音楽会だったと感謝しております。

この音楽会の成功を力に、来年は南部のうたごえ祭典、そして二〇〇八年には団創立50年の記念の音楽会を、また東京で開催するうたごえ60周年の「日本のうたごえ祭典」の成功に向けて、この南部地域にしっかりと根をはって歌い続けていきます。これからもご支援、ご協力をお願い致します。

指揮者と歌い手で作り上げた宇宙

常任指揮者　横山　琢哉

私、横山が南部合唱団の常任指揮者になって、今回が4回目の公演。団内指揮者が不在となってしまい、合唱曲のすべてを横山が指揮することになったこの演奏会が、奇しくも私にとって常任指揮者として最後の演奏会になった。そういう意味では大きな区切りの演奏会といえるものだった。そして、私にとって、うたごえ、といえば、何はなくとも、林光。この合唱団で、林光作品集をメインに据えることは、夢でもあった。その夢が実現した。

「うたごえは明日のために」で、社会をも動かすうたごえのパワーに思いをはせる。「たたかいの中に」で、運動や闘争の中で若くして命を落とした人々の魂に呼びかける。「連帯について」で、外国での出来事も、自分たちのこととしてとらえることの大切さを問う。「流れる水と岩の歌」、この歌は林光自身の詩による、林光の「運動」観。「ねがい」は、人間としてのすべての祈り。「星めぐりの歌」で、宮澤賢治の旋律と言葉を借りて、遠い星空へ想いを飛ばす。

指揮者である私と、南部合唱団のメンバーで、宇宙を作れたか。答えは、客席に居た方々のみぞ知る。

私の飛ばした個人的な想いは、一言で言えば、爆笑問題の太田光さんと学者の中沢新一さんが共著した本のタイトルと同じ。「憲法九条を世界遺産に」

南部合唱団の皆さん、これからは異なる場所で、同じ空を感じながら、平和を祈り続けましょう。ありがとうございました。

二〇〇六年12月8日
東京・国分寺にて